



## 大船渡市営住宅 下欠東アパート

施工地／岩手県大船渡市立根町字下欠1-1  
竣工年月／平成27年2月  
敷地面積／3,545.38m<sup>2</sup>  
延床面積／2,256.11m<sup>2</sup>  
構造／鉄筋コンクリート造3階建  
戸数／33戸  
2DK:21戸(車椅子対応戸2戸)  
3DK:12戸

## あの日から4年が経ち

岩手県の沿岸南部に位置する大船渡市は、三陸復興国立公園の代表的な景勝地として知られる碁石海岸や三陸沿岸の最高峰「五葉山県立自然公園」など、多くの自然に恵まれる風光明媚なまちであります。三陸沖の豊かな漁場からの恵も多く、大船渡港は東北でも有数の漁港として知られており、近年では韓国の釜山港を結ぶ国際貿易コンテナ定期便が開設されるなど、物流基盤の強化とともに三陸沿岸地域の海上物流拠点としての役割も担っております。

平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災では、押し寄せる津波により多くの住宅や漁港施設が損壊し甚大な被害を受けましたが、現在では浸水地域の嵩上げや、仮設住宅に暮らす被災者の皆様が安心して生活できる災害公営住宅の整備など、復興に向けた歩みを進めています。



団地内コミュニティを育む場として設けた集会場は、温もりと親しみを感じる木造平屋建てとし、住民が気軽に集い交流を生む賑わいの場として入居者の生活をサポートします。

## 安心・安全な住環境

大船渡・市街北部の下欠地区に完成しました「大船渡市営下欠東アパート」は、東日本大震災で住宅を失い、自力での住宅再建が困難な方を対象とした災害公営住宅であります。住宅地での本施設計画では、敷地形状から住棟を北東から南西軸を長辺に配置し、各戸の居室が南東に面し充分な採光を確保しながら、周囲の既存住宅に圧迫感を与えない敷地西側への配置計画としました。敷地東側は駐車場とし敷地内への歩行動線と車両動線を明確に分離し、入居者の安全性にも充分に配慮する計画となっております。



## 暮らしやすさの追求

暮らしやすい住環境の構築として、車椅子利用の方々にも快適に生活していただけるよう車椅子対応型住戸(2DK)を1階に2戸配置しました。外部から玄関入口まではスロープを設け段差を解消し、戸内には手すりを設置、扉などの建具は引き戸とするなど出入りしやすい計画といたしました。またキッチンの流し台は車椅子対応仕様を採用し安心して快適な生活が送れるよう細やかな配慮を行いました。緊急時には迅速に避難ができるようバルコニー側に避難動線を確保しました。至近位置に設けた専用駐車場と共にスムーズな避難を可能とします。



玄 関



和 室



バルコニーからの避難経路



ダイニング



車椅子仕様流し台

